

2022年5月9日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

2021年度活動状況報告書

2021年度の活動について下記の通り報告いたします。

記

I. 高齢者の見守り

昨年度に引き続き、2021年度も成田支社管轄内の12市7町（佐倉市・八街市・東金市・四街道市・銚子市・香取市・匝瑳市・旭市・成田市・印西市・富里市・山武市・九十九里町・横芝光町・芝山町・多古町・東庄町・神崎町・酒々井町）を中心に、成田支社以外の県下4支社にも適宜連携して活動範囲を広げながら、地域の高齢者の見守り活動に取り組んでまいりました。

成田支社では、毎月高齢者見守り活動進発日を設定し、生涯設計デザイナーひとりひとりが「高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり」という目的を再認識する日として、高齢者のご契約者宅への定期訪問や地域の見守り活動を積極的に行いました。

活動も8年目に入り、地域の高齢者を見守るという意識は十分浸透してきており、コロナ禍で活動が制限された中での取組となりましたが、2021年度に「感謝の声」として報告のあった中で、高齢者見守り・救助・支援に関するものは80事例を超えております。また離れて暮らしているご家族からも見守り活動に対する感謝のお言葉をいただいております。地域の皆さまのお役に立てていることを実感しております。

※ 今年度の事例につきましては別紙にて提出しております。

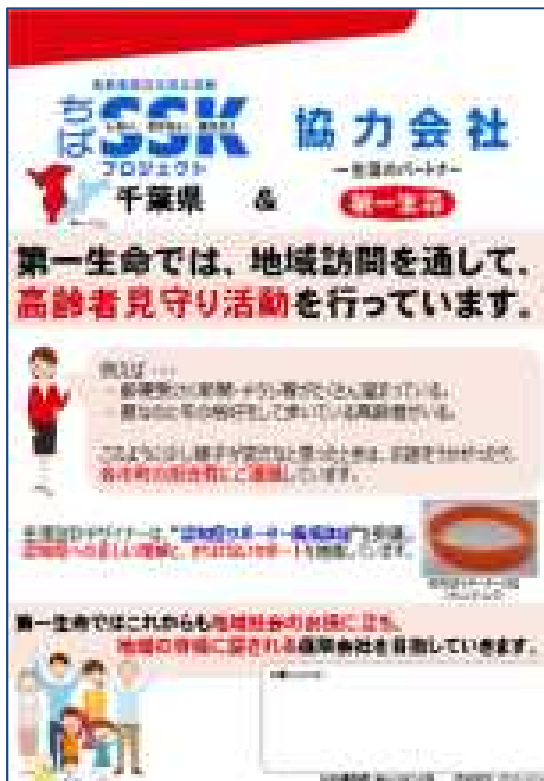
*別紙*見守り事例「感謝の声」より抜粋

年月	見守り事例
2021年6月	<p>朝、出勤途中の田んぼ道で高齢の男性が倒れていました。驚いて声をお掛けすると、怪我をされているのか起き上がることが出来ない状態で、ご自分の家の場所や自宅の電話番号もわからないようでした。救急車を呼び、来るまでの間、話しかけながら付き添いました。</p> <p>初めはご本人も動揺されていらっしゃいましたが、救急車が到着すると少し安心されたようでした。ご本人からも救急隊の方からも感謝の言葉をいただきました。私自身も本当に驚きましたが、車通りの少ない道で早めに気付くことが出来て本当に良かったと思えました。</p>
2021年7月	<p>20時頃、お客さま宅から帰宅中に右折しようと止まっていたら、目の前で車同士の衝突事故に遭遇しました。車を降りて声をお掛けしたのですが、両方の運転手が高齢の女性で、ぶつけられてしまった方はパニックになっていました。</p> <p>警察に電話して事故の場所等報告し、お二人には警察が来てくれることをお伝えしたのですが、パニックになっていた方が少し落ち着き、「ありがとうございます。」とお礼を言ってくださいました。</p>
2021年9月	<p>69歳の女性のお客さまにご連絡させていただいたところ、体調が悪いけれど一人暮らしなので食料を買いに行けずに困っているとのことでしたので、食べ物とフルーツをお持ちし、玄関のドアにかけさせていただきました。</p> <p>その後、帯状疱疹だったことがわかりました。お客さまから「外に出られなかったので、とても助かりました。」とお礼のお電話をいただきました。</p>
2021年11月	<p>ご高齢のご夫婦のお客さま。ある日の朝、ご主人から電話があり、「妻がここ3日くらいご飯を食べられず、一人では歩けないからトイレにも行けないんです。でも、本人は病院に行きたくないと断っているため、困っています。助けてください。」と仰いました。明らかに普通ではない様子でしたので、すぐにお客さま宅に向かいました。ご主人も奥様も持病があり、身寄りもいらっしゃらないので向かっている道中は気が気ではありませんでした。</p> <p>訪問させていただくと、思っていたより会話が来たのですが、何の病気が隠れているかわからないので、救急車を呼び、救急隊の方に引き継ぎさせていただきました。その後入院されたそうです。ご主人から「大変助かりました。妻は糖尿病だったようです。一人じゃどうすることもできなかった。本当にありがとうございます。」と仰っていただきました。日頃、定期的に訪問させていただいていたこともあり、頼っていただけたことが何よりも嬉しかったです。</p>

II. 「ちばSSKプロジェクト」の普及

社員は『私たちは高齢者を見守っています』と書かれた「ちばSSKプロジェクト」のロゴ入りネームホルダーを身につけて活動し、地域の方々に高齢者見守りについての認知度を高めるよう取り組んでおります。また高齢者見守り活動を行っていることをお知らせするためのチラシも配布するなど、「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発にも日々努めております。

チラシ ↓



ホルダー ↓



III. 認知症対策

成田支社では全職員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターとして活動しております（異動・退社者を除く）。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、認知症サポーター養成講座は開催できませんでしたが、2021年度は新たに88名が受講し、学んだ知識を日々の活動に役立てています。

また、認知症徘徊SOSネットワーク事業の取組のある自治体とも協定を締結しており、徘徊者も意識しながら高齢者見守り活動を進めております。

IV. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

高齢者見守り活動の中で、一人暮らしの高齢者のお話し相手や日常のささやかなお手伝いをすることで、一人ではないことを実感いただけていると感じております。

また、健康診断の受診率の向上を地域の皆さまに推進する活動も一部行っており、健康に関する情報をお届けすることで地域の皆さまの健康に対する意識の向上にも努めております。

V. 高齢者の安心・安全

毎月、生命保険協会千葉県協会を通じて提供される「千葉県警察からのお知らせ」を活用し、電話詐欺等の被害防止の声かけにも力を入れて活動しております。また、高齢者宅訪問時、過度な宅配物等が置かれていた場合などは、ご家族にも連携して、被害の未然防止にも努めております。

実際に、「千葉県警察からのお知らせ」をお渡ししたお客さまからは参考になったとの感謝の声もいただいております。

以 上